映画会 お知らせ

こどもえいがかい
開始 10:30～
（開場 10:15）

10/18（日）
『日本の昔ばなし
浦島太郎 ほか全9話』

10/25（日）
『工事で活躍するくるまたち』

11/15（日）
『ピングー・コレクション
VOL.2』

11/22（日）
『チップとデール
リスのいたずら合戦』

市民映画会
開始 14:00～
（開場 13:30）

10/18（日）
『007 は2度死ぬ』

10/25（日）
『トキワ荘の青春』

11/15（日）
『コクーン2 遥かなる地球』

11/22（日）
『老後の資金がありません！』

図書館まつり SP 映画会
『コクーン』
11/14（土）14 時～（開場 13 時半）

おはなしのへや

おはなし会
10/3　10/17
11/7　11/21

親子おはなし会
10/23　11/27

2 階おはなし会室にて
10：30～開始

CD＆DVD 特集コーナー

「オレンジの曲」
紅葉、夕焼け、ハロウィン…
秋のイメージカラー
「オレンジ」をテーマとした曲
1階視聴覚コーナーにて展示中

【発行】所沢市立所沢図書館所沢分館　所沢市元町 27-1　☎04-2923-1243
指定管理者：株式会社ヴィアックス

図書館だより No.125（通巻）

とこぶん通信

2026
10・11





とこぶんさんぽ

おしゃぶき様

峰の坂を上る途中左手にある峰の坂墓地は、石段の中ほどに小堂があり、そこには首のないお地蔵様「おしゃぶき(おしやびき)様」が鎮座しています。首無し地蔵は首から上の病に対してご利益があり、おしゃぶき様もその名の通り、咳(しわぶき)の神様として親しまれています。

昔は冬から春にかけて「百日咳」がよく流行り、現代のようにワクチンや薬もないので、子が病にかかると、親たちはおしゃぶき様のところへお参りに行きました。百日咳が流行ると、「くちなし」の枝を短く切り子どもの帯にさげたり、地域によってはニンニクを袋に入れたものを帯に下げたりしました。場所によっては家の入口に真っ赤な「からす瓜」を吊るして厄除けとしたところもありました。

他にも、所沢には久米の長久寺にもおしゃびき様(寿和婦貴(咳)尊)と呼ばれる６体の首無し地蔵がいます。咳が止まらず首が落ちそうに痛かった人が、その咳を止めるため、六体の首なし地蔵を祀って祈願し、治った、という言い伝えがあります。

≪参考文献≫
『むかしのところざわ百景』峯岸正雄／著　所沢市企画部秘書広報課　1983 年≪213.4/ミ≫
『鎌倉街道をゆく』栗原仲道／著　埼玉新聞社　1998 年　≪K/682/ク≫
地図出典：国土地理院ウェブサイト(地理院タイル(標高タイル)を加工して作成)

とこぶんからのお知らせ

ところざわサポートプレイス
「SHIORI」開始！

10 月 1 日（木）から、悩みを抱える若者を対象とした相談窓口「SHIORI」が所沢分館 1 階に開設しました。公認心理師、精神保健福祉士等の専門職チームが対応します。

対象：所沢市在住・在学・在勤の 15 歳から 30 歳の方

受付方法：LINE、Web フォーム（メール）

電話（080-8413-5730）

図書館まつり「ブックリサイクル」

日時：令和 8 年 11 月 14 日（土）・11 月 15 日（日）

場所：2 階カウンター付近

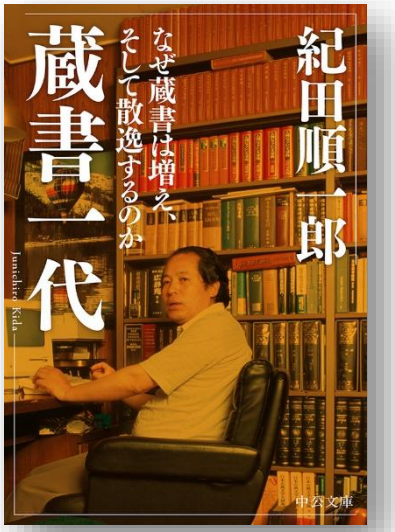
除籍になった本や雑誌、リサイクル図書など無料配布します。

なくなり次第終了です。

本を入れる紙袋、マイバッグをご持参ください

（持ち帰り用の袋は数に限りがあります。）





『蔵書一代』
紀田順一郎／著
中央公論新社　中公文庫

推し本
とこぶんスタッフ選

『蔵書一代』

紀田順一郎／著　中央公論新社　中公文庫

2026 年

書誌学やメディア論の専門家であり蔵書家の紀田氏が半生をかけて集めた三万冊に及ぶ蔵書との別れの経緯語りつつ、蔵書と日本社会の構造について考察を綴った一代記です。

蔵書家にとって集めてきた蔵書は人生そのもの。個人の蔵書は死とともに散逸し、寄贈するにしても図書館や大学等の受入に限界がある。あらゆる手を尽くし、処分を決意した蔵書を載せたトラックを見送り、立ち上がれなくなった朝、その喪失感を思うと共感できる方は多いのではないでしょうか。

『架空雑貨集』

ミチル／著　Gakken　2025 年

水道の蛇口ハンドルがシュウマイだったり、そうめんが長ネギカラーだったり、著者が SNS で発信した、いつもの日用品が楽しくなってしまう架空のプロダクトの数々をまとめた本です。中には実際に製品化しているものもあり、作品を産み出すアイデアの組み立て方や、企業との裏話も掲載されています。SNS は現在も更新中なので続刊もありそうです。

面白いことを考える人がいるなあと思わぬアイデアや組み合わせのセンスが楽しくて、どこを開いてもわくわくする一冊です。



『架空雑貨集』
ミチル／著
Gakken　2025 年